



美杉中学校だより

みんなが幸せになれる学校
すすんで学び行動しよう
ぎぶあっぴしない

第 26 号
令和5年 2月 27日発行
美杉中学校長
坂本 直哉

3/13 卒業式に向けて



2月も残すところわずかな日を数える時期になってきました。3年生は県立高校前期選抜を終え、自分の進路を定めた人、また3月9日の後期選抜に向かって力を蓄えている人、それぞれの立ち位置で歩を進めています。これから目標へのチャレンジに向かう仲間へのエールを感じ取りながら、一人一人が自らの進路に向けて臆せず立ち向かってくれることを願っています。

3月13日(月)の「第47回津市立美杉中学校卒業証書授与式」まで、あと2週間ほどになってきました。ようやく、新型コロナウイルスへの対応にも一応の収束が宣言され、全国各地から「卒業式」の様子が届けられてきます。マスクの着用から解放され、笑顔で式に参加する生徒の姿も多くみられます。すでにお知らせいたしましたが、津市の小中学校卒業式



においては、保護者のみの参加(マスクの着用)をお願いいたします。なお、生徒・職員のマスク着用については、声を出す・人との間隔などを考慮し、式次第の一部においてマスクをはずすことも可能な形(美杉中スタイル)で実施いたします。

なにとぞ、みなさまのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

《学校運営協議会からの報告》

2月20日(月)。「第3回学校運営協議会」を協議会委員(6名)の参加をいただき開催しました。学校アンケート(生徒・保護者)をもとに、美杉小・中学校各校の1年間を評価していただきました。

- ・自分の意見を発信できる子どもの育成。
- ・人との円滑なコミュニケーションをとれる子どもの育成。
- ・No Media Dayの取組の現状。 ・美杉地域からの学び。
- ・子どもへの丁寧な指導への評価と表面に見えない部分も含めた見届けの必要性。

など、小中における教育活動に対して概ねよい評価をいただきました。

《意見》

◎GIGAスクール構想に関しては、これからの進展していくデジタル社会に対応するスキルを磨くためにも、一人一台端末の活用を進めてほしい。

◎人と人が直接かかわりあうコミュニケーション能力の育成についても、意識を怠ることなく進めてほしい。

◎部活動の地域移行については、指導に対する責任が伴うことから、スムーズな移行には難しい面が多い。

◎地域から部活動の指導に携わっていただける人材の発掘をお願いしたい。

などの意見を交流し、現在の学校教育がおかれている状況や課題を共有していただく機会になりました。これからも、地域の学校としてアドバイスとサポートのほど、よろしくお願いいたします。